

**水戸室内管弦楽団 第101回定期演奏会
小澤征爾氏降板および曲目変更のお知らせ**

いつも水戸芸術館の活動にご理解、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。

さて、水戸室内管弦楽団第101回定期演奏会（5月20日、22日）の第2部において、ベートーヴェン〈ピアノ協奏曲 第2番〉（ピアノ独奏：マルタ・アルゲリッチ）を指揮する予定でした小澤征爾氏（水戸芸術館館長、水戸室内管弦楽団総監督）は、3月2日に大動脈弁狭窄症であると診断され、3月の小澤征爾音楽塾オペラ・プロジェクトを降板し治療に専念しておりますが、体力回復にはなお時間がかかることが予想されるため、水戸室内管弦楽団第101回定期演奏会と水戸室内管弦楽団大分公演（5月25日、主催：公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団）も降板することになりました。

小澤征爾氏の降板に伴い、第2部の曲目はショスタコーヴィチ〈ピアノ協奏曲 第1番〉（ピアノ独奏：マルタ・アルゲリッチ）に変更し、指揮者なしで演奏いたします。同曲で重要となるトランペット独奏には、アルゲリッチ氏の希望で世界的な奏者であるセルゲイ・ナカリャコフ氏（プロフィールは次ページをご参照ください）が急遽ヨーロッパでの予定を変更し参加してくれることとなりました。

また、チケット料金については下記のように変更し、チケットは当初の予定通り、4月1日に一般発売いたします（財団運営維持会員および友の会会員先行予約あり）。

皆様には急なお知らせとなり誠に恐縮ですが、事情ご賢察の上、ご周知くださいますようお願い申し上げます。

水戸室内管弦楽団・別府アルゲリッチ音楽祭共同制作

水戸室内管弦楽団第101回定期演奏会

日時：2018年5月20日（日）15：00開演、5月22日（火）19：00開演

会場：水戸芸術館コンサートホールATM

主催：公益財団法人水戸市芸術振興財団

曲目：

【第1部】 指揮：ラデク・バボラーク ※第1部については変更ございません。

ルーセル：小組曲 作品39

ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲

ミヨー：フランス組曲 作品248

【第2部】

（変更前）ベートーヴェン：ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品19（指揮：小澤征爾）

（変更後）ショスタコーヴィチ：ピアノ協奏曲 第1番 ハ短調 作品35（指揮者なし）

ピアノ独奏：マルタ・アルゲリッチ

トランペット独奏：セルゲイ・ナカリャコフ

※5月25日の水戸室内管弦楽団大分公演の曲目、出演者も同様に一部変更になります。

詳しくは、下記、公演主催者までお問い合わせください。

公益財団法人アルゲリッチ芸術振興財団 TEL. 0977-27-2299

チケット料金：

（変更前）S席 28,000円 A席 25,000円 B席 20,000円

（変更後）S席 18,000円 A席 15,000円 B席 10,000円

チケット発売：4月1日（日）

（財団運営維持会員は3月28日から、友の会（一般、法人）会員は3月29日から先行あり）

チケット取り扱い：

水戸芸術館 (9:30～18:00/月曜休館)

◎エントランスホール内チケットカウンター

◎チケット予約センター TEL. 029-231-8000

◎ウェブ予約 <https://arttowermito.or.jp/tickets/ticket.html>

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/> (PC・携帯)

チケットぴあ <http://t.pia.jp/> [Pコード 106-362]

かわまた楽器店 TEL. 029-226-0351

ヤマハミュージックリテイリング水戸店 TEL. 029-244-6661

【セルゲイ・ナカリャコフ氏 プロフィール】 Sergei Nakariakov



(c)Thierry Cohen

1977年旧ソ連のゴーリキー（現ニジニ・ノヴゴロド）生まれ。世界有数のソロ・トランペット奏者としてイヨルグ・ヴィットマン等の作曲家から作品を献呈されている。ピアノを学んでいたが、交通事故のために断念。父親の指導のもとトランペットに転じる。10歳でオーケストラと共演、1991年にザルツブルク音楽祭に登場、翌年にはシュレスヴィヒ・ホルシュタイン音楽祭に出場し、ダヴィドフ賞を受賞するなど、天才の名をほしいままにした。日本では、1998年NHK朝の連続テレビ小説「天うらら」のテーマ曲「うらら・イン・ザ・スカイ」演奏、2005年NHK大河ドラマ「義経」の紀行テーマの演奏などでも広く知られ、2001年映画「大河の一滴」ではスクリーンデビューも果たした。別府アルゲリッチ音楽祭には2002年4月マルタ・アルゲリッチとのショスタコーヴィチのピアノ協奏曲で初登場し、以来定期的に招かれている。フランス在住。使用楽器はフランスのコルトワ。

【小澤征爾氏のコメント】

このたびは、5月の水戸室内管弦楽団の指揮ができなくなってしまい、本当に申し訳ない気持ちです。昨年に続き、水戸そして大分でアルゲリッチさんと共演できることを私自身とても楽しみにしていたので、降板することはとても残念です。

しかし、皆様の前で指揮活動を再開するためには、今は治療に専念し、体力の回復に努めることが最重要だと判断いたしました。

今回、私が振れなくても、予定通り第1部を指揮するバボラークさん、そして指揮者なしでの演奏を決断してくれたアルゲリッチさん、そして特別ゲストのトランペットのナカリャコフさんと、長い間一緒にやってきた水戸室内管弦楽団の仲間がコンサートをつくってくれるので、絶対にすばらしい演奏会になります。

皆様にご理解いただき、演奏会を楽しんでいただけたら本当に嬉しいです。

【大津良夫 水戸芸術館副館長のコメント】

演奏会を楽しみにして下さっていた皆様に心よりお詫びを申し上げます。小澤館長の一日も早い回復を祈っています。アルゲリッチさんからは「日本の宝でもある小澤征爾氏のご快復をひたすら願い、再び皆様に共演をご披露できますことを、皆さまと共に祈りたい」という温かなメッセージをいただき、ショスタコーヴィチのピアノ協奏曲を演奏して下さることになりました。水戸室内管弦楽団関係者一同、皆様方のご来場をお待ちしております。

【当りリリースに関するお問い合わせ】

水戸芸術館音楽部門 TEL: 029-227-8118 FAX: 029-227-8130

水戸芸術館広報係 TEL: 029-227-8111 FAX: 029-227-8110

〒310-0063 茨城県水戸市五軒町1-6-8 <https://www.arttowermito.or.jp/>